

荻窪駅周辺で 危険ドラッグ根絶キャンペーンを実施しました！

16日（火曜）、JR荻窪駅周辺で、区と荻窪警察署等が、危険ドラッグの根絶を呼び掛けるため、キャンペーンを実施しました。駅頭には町会をはじめ地域の方も約10名集まり、根絶を呼び掛けるチラシ等を配布しました。

危険ドラッグは、今年4月1日から製造・販売などだけでなく、所持・使用・購入などについても、法律で禁止されるようになりました。しかし、危険ドラッグ使用者による事件・事故が後を絶たしません。

杉並区は、危険ドラッグを身近な問題として捉え、区内の三警察署や東京都薬物乱用防止推進杉並地区協議会等と協力し、根絶のため、年数回駅周辺等で、「買わない」「使わない」「関わらない」と呼びかけるキャンペーンを実施しています。

本日の「危険ドラッグ根絶キャンペーン」は、荻窪警察署とともに、荻窪駅周辺で行ったものです。荻窪駅周辺は、区内最大の交通結節点で、1日あたり約24万人が利用していることから、広く多くの区民に呼びかけられるということで、今回はこの場所になりました。

午後1時30分頃、JR荻窪駅には、区と荻窪警察署の職員、町会など関係団体の方約50名が集まりました。冷たい雨風の中、啓発チラシやティッシュを配りながら、約30分にわたり、通行人に危険ドラッグの根絶を呼びかけました。

区は、今後も警察署等と協力して、区民一人ひとりが危険ドラッグの恐ろしさについて認識を深められるよう、キャンペーン等に取り組んでいきます。



【問い合わせ先】

危機管理室地域安全担当、総務部広報課

TEL : 3312-2111（代表）